

令和6年度スーパーコンピュータ「富岳」利用研究課題の 定期募集(年二回募集の第二回目)の選定結果について

スーパーコンピュータ「富岳」を利用する令和6年度の定期募集(年二回募集の第二回目)では、50件の応募があり、35件を採択しました。利用期間は、2024年10月1日から1年間です。

高度情報科学技術研究機構(理事長 田島保英)は、登録施設利用促進機関及び文部科学省委託事業「HPCIの運営」代表機関として、スーパーコンピュータ「富岳」^(*)を用いた利用研究課題を広く一般から募集し、令和6年度B期の実施課題を選定しました。

「富岳」については年二回利用研究課題の募集を行っており、一回目をA期募集(4月利用開始)、二回目をB期募集(10月利用開始)としています。今回は令和6年度B期募集の選定結果についてお知らせします。

令和6年度B期「富岳」利用研究課題には、一般課題、若手課題、産業課題を合せて50件の応募があり、35件を採択しました。令和5年度B期募集とほぼ同水準の採択数となっています。

「富岳」の一般課題には「重点分野^(*)」として以下の3つの分野を設定しています。令和6年度B期募集では、9件の応募に対し、7件を採択しました。特にAI・データサイエンス関連分野では6件中6件すべてが採択され、本分野の今後の研究進展が期待されます。各重点分野への応募数/採択数を[]内に示します。

<令和6年度B期の重点分野と応募数/採択数>

- (ア) AIやデータサイエンスを活用して、科学的・社会的課題の解決に資する研究開発 [5件/5件]
 - (イ) 次世代コンピューティングに資する基盤研究開発 [3件/1件]
 - (ウ) 感染症対策に資する研究開発 [0件/0件]
- 上記(ア)(ウ)両分野への応募 [1件/1件]

選定結果は、本日付けで課題代表者に通知するとともに、HPCIポータルサイト^(*)に掲載する予定です。

<令和6年度B期課題の応募数、採択数>

課題の種類	応募数	採択数	要求資源量 (百万NH)	配分資源量 (百万NH)
「富岳」一般課題 ^(注1)	26(9)	16(7)	228.8	120.8
「富岳」若手課題	14	9	46.9	30.0
「富岳」産業課題	10	10	26.1	24.9
合計	50	35	301.8	175.7

(注1) 「富岳」一般課題の括弧内は重点分野の件数(内数)を示す。

参考: 令和5年度B期課題

応募数	採択数	要求資源量 (百万NH)	配分資源量 (百万NH)
40(14)	18(6)	361.6	126.6
12	5	43.8	17.6
11	11	39.4	31.5
63	34	444.8	175.7

(*1)スーパーコンピュータ「富岳」

スーパーコンピュータ「京」の後継機として理化学研究所と富士通が共同で開発・整備した計算機。社会的・科学的課題の解決で日本の成長に貢献し、世界をリードする成果を生み出すことを目的とし、電力性能、計算性能、ユーザーの利便性・使い勝手の良さ、画期的な成果創出、ビッグデータや AI の加速機能の総合力において世界最高レベルのスーパーコンピュータです。

15万8976個の中央演算装置(CPU)を搭載し、1秒間に約44京2010兆回の計算が可能です。

スーパーコンピュータ「富岳」は、2024年5月の世界のスーパーコンピュータに関するランキングで、「HPCG(High Performance Conjugate Gradient)」、「Graph500」において9期連続の第1位、「TOP500」で第4位、「HPL-MxP」で第4位を獲得しました。

詳しくは理化学研究所のお知らせ(<https://www.r-ccs.riken.jp/outreach/topics/20240513-1/>)をご参照ください。

(*2)重点分野

年度ごとに、政府方針、社会情勢などを踏まえ重点的に推進する研究分野を「重点分野」として設定します。「重点分野」に適合すると判断された課題は優位性を持って審査されます。

(*3)HPCIポータルサイト

<https://www.hpci-office.jp>

◆問い合わせ先

一般財団法人高度情報科学技術研究機構 神戸センター 広報部 内山、中山

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1-5-2

TEL: 078-599-9511 FAX: 078-599-9513 E-mail: koho@hpci-office.jp

ヘルプデスク:

TEL: 078-940-5795 E-mail: helpdesk@hpci-office.jp